

国民には、三大義務があり、その中に納税の義務があります。なぜ義務となつているのでしょうか。

「行ってきまーす。」そう言つて家を出た私。今、歩いている道路は歩きやすいです。少し行くと信号があります。赤信号で車が止まってくれて、私は安心して渡れます。そして、いつものように学校へ登校します。お昼になると給食が出ます。全て普通の事です。



けれどそこには、姿を変えたあるものが隠れています。それは、皆が払っている税金です。例えば、老人ホームや病院、警察署や消防署、浄水場やゴミ処理場など私の身の回りには、たくさんの税金が姿を変えて使用されています。どれもなくてはいけないものばかりです。こう見てみると税金は、様々な姿になり私達の生活を支えてくれているものなんだと分かりまし

た。

しかし、テレビを見ていると税の無駄使いという番組を見ました。私は、とても腹が立ちました。父や母が苦労して働いて納めている税を無駄に使っているなんて。私は、少し税金を払うのが嫌になりました。けれど、税はこれくらいすごく大切なものになっていくんだと母から聞かされました。母は、私たちの世代は大変だと言いました。なぜなら、税金の負担が重くなるか

★東北地区納貯連会長賞

村「税についての作文」最優秀賞

税についての考え

普代中3年 関口桐子さん

らです。その原因は、高齢化社会です。現在、日本の平均寿命は三十年で十歳以上も伸びているそうです。二千年には、ひとりのお年寄りを、二十〜六十四歳の人三、六人で支えていたそうですが、二〇二五年には一、九人で支えることになるそうです。つまり、現在の制度のままでは、働く人の年金掛け金などの支出は二倍になってしまふのです。お金は増えていくのに、それを負担する働き手が減る少子

化という問題も同時にあります。それに、国債という巨額の借金もあります。そのお金は一人当たり約四二二万円払わなければならぬいそうです。そのお金を返すのは、私たち国民なのです。無駄使いや脱税などといった許しがたい現実を解決するには、一人ひとりの理解を深めることが必要なのです。

とでした。それは、社会を保つため、社会の中で私達が生活していくために最も大切なことだからです。私は、これからの自身の生活、そして両親の介護のために、税の仕組みを正しく理解し明るい未来のために、きちんと納税したいと思います。そして、納税をきちんとする大人でいつばいの日本になる日が、近いことを願っています。

(原文のまま掲載)

ルール守り事故のない村に 24回村交通安全村民大会



「交通安全ポスターコンクール」の表彰式も行われました

第24回村交通安全村民大会が11月5日、村自然休養村管理センターで開かれました。交通安全協会やシルバ一部会、母の会ら関係者約100人が参加し、飲酒運転の撲滅やシートベルト、チャイルドシートの着用の徹底などを誓い合いました。大会では交通犠牲者に対する黙とうをし、堀

内小5年の赤坂千夏さんが県交通安全憲章を朗読、参加者全員で読み上げました。続いて、第22回村交通安全ポスターコンクールの入賞者18人を表彰しました。久慈警察署の及川功交通課長が「管内の交通情勢について」と題して講演。「交通安全に特効薬はありません。家庭でよく話し合うことが大切です」と話しました。

- ◇小学校低学年の部▽最優秀賞 下道諒志(堀内小2年)
- ▽優秀賞 煤賀啄美(同上)
- 方さくら(同1年)▽佳作 赤坂祥基(堀内小1年) 藤鳴翔(同) 畠山秀哉(黒崎小1年)
- ◇小学校高学年の部▽最優秀賞 赤坂千夏(堀内小5年)▽優秀賞 大上真美(普代小6年) 太田佳緒里(堀内小4年)▽佳作 藤島拓麻(堀内小6年) 宮本翔希(同5年) 日野澤朱莉(烏茂渡小5年) ◇中学校の部▽最優秀賞 赤坂夏海(普代中2年)▽優秀賞 日野澤結佳(同) 高屋敷舞(同)
- ▽佳作 二又冨夏(普代中2年) 金子望(同) 藤島晶

敬称略